

## 令和5年度 2月(第5回) 運営理事会議事録

日時：令和6年2月14日(水) 19:00～20:25	
本会議場	
出席者：(会場) ナースプラザ福岡 3F 303 研修室	
会 長	外山洋子
副 会 長	倉重康彦、緒方昌倫、大久保文彦
総務局長	池上新一
運営理事	生田幹博、木村賢司、田代恭子、佐藤謙一、加藤康男、 嶋田裕史、新田誠、佐藤房枝、野田哲寛、浦園真司
監 事	小山宣輝
事 務 局	金子千代美
欠席者：運営理事	牟田正一
参 与	西浦明彦
監 事	北里謙二
書 記	市丸加奈子、高木奈穂

【議 事】 司 会 総務局長 池上新一

### ◇議 題

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| 1. 全国会長会議報告       | 外山会長   |
| 2. 日臨技会議報告        | 倉重副会長  |
| 3. 定時総会について       | 池上総務局長 |
| 4. ニューリーダー研修会報告   | 木村理事   |
| 5. 予算委員会報告        | 田代理事   |
| 6. 災害対策協定について     | 外山会長   |
| 7. 第33回医学検査学会について | 浦園地区長  |
| 8. タスクシフト講習会について  | 木村理事   |
| 9. 医療団体協議会セミナー報告  | 緒方副会長  |
| 10. 法人会計勉強会について   | 倉重副会長  |
| 11. 各部報告          |        |
| 12. 各地区報告         |        |
| 13. その他           |        |

## ◇外山会長挨拶

先週ニューリーダー研修会も無事終了しています。活発に討議もなされていました。ご協力いただいた方々、ご苦労様でした。本日もたくさんの議題がありますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

### 1. 全国会長会議報告

外山会長

1月27日 土曜日の報告です。資料は事前に配布していただきましたので目を通しておい

てください。

能登半島地震報告では、対策本部を立ち上げて、人員を派遣している。

次世代プロジェクトや人材池性についての報告。

各県からの要望についての討論。福岡県としては日臨技助成研修会費の約20万円を県学会に利用できないかを要望した。

Wedgeと言う小冊子があります。我々が目にすることはほとんどありません。臨床検査技師の知名度アップのため新幹線のグリーン車に無料配布されている。

### 2. 日臨技会議報告

倉重副会長

事前に資料は配布しておりますので、ご確認ください。スライドにでも提示。

日臨技精度管理調査実施報告。3月12日から申し込み開始です。価格は据え置きとなっています。

生涯教育制度推進研修会の使用が少ない。4700万円の予算で執行率が約50%であり、2400万円ほどが流動貯蓄となる。福岡県は13件の登録で100万円の予算の60%ほど。

臨地実習指導者講習会に参加している施設の報告。福岡県は教育協議会目標施設66に対し未受講施設18を提示。

タスク・シフトについて。現行法上実施可能な14行為に対して、臨床検査技師が実施する行為として定着させるために、VODコンテンツ化を推進していく。輸血関連のタスク・シフト研修会は2月よりすでに開始となっている。

大規模災害時の支援人材育成講習会のコンテンツも作成されている。

今後の予算執行上における災害対策の内容が示された。到達目標として避難所での災害対策に臨床検査技師の参画。柱となるのは人の派遣と物の提供となるが、物の提供については臨床検査振興協議会にお願いする。

各都道府県技師会においては3施設しか各自治体と協定を結んでいないので、来年度には20施設ほどで協定を結ぶよう進めている。

日臨技には多数のワーキンググループが存在しているが、日臨技機能強化検討ワーキンググループより中間報告がなされている。比較的若い方々で構成されたワーキンググループです。常務理事の増員、事務職員の理事就任、執行部体制の強化、シニア会員や学生会員の新設、複数人数による代表理事制度の継続などが検討事項としてあがっています。

タスク・シフト実技講習会をより効率的に開催するために、開催要件が変更された。開催人数としては申し込み締め切り日の入金済み申請者が50名以上となっていたが、申込者が50名に変更された。都道府県によって規模を変更など。医師、看護

師に依頼している講師も、講習会修了者で実務について実績を積んでいれば講師になっても良いのではとの意見があり、年内に見直しを検討することになっている。

本日、臨床検査技師の国家試験が行われている。日臨技から厚生労働省へ国家試験についての意見書（問題の正確性やレベル等）の提出を行う。

今後の広報活動の進め方。臨床検査技師の認知度が低いので広報部で様々な活動を行っている。優秀な人材確保、法案作成においても検査技師が声を出せる社会にしていくため。認知度向上のためにも検査前に臨床検査技師であることを伝える「臨床検査技師を名乗ろうキャンペーン」を実施していく。賞金を付けてポスターを募集する。

先週土曜日に3回目の予算委員会あり。これまでも赤字予算を組んでいるが最終決算は黒字となっている。

韓国の技師会が技師会館を建てたとのことで、200万円を寄付。日韓交流の展示ブースを設置する。

### 3. 定時総会について

池上総務局長

開催日は5月25日（土） 詳細はまだですが、お昼過ぎには集合して頂きます。

議長2名、議事運営委員を各地区から1名選出頂いている。今年の議長は筑豊地区から正議長、筑後地区から副議長の選任をお願いします。

1月には皆さんに前回の議案書をお渡ししています。担当部分を修正頂き3月の理事会までに私に返信して下さい。研修会の参加人数等は分かっているところまでで結構です。

### 4. ニューリーダー研修会報告

木村理事

2月10日（土）に開催した。各地区より選抜して頂き、20名の参加予定でしたが、諸事情にて2名欠席となりました。午前中、宮島会長、益田常務理事にリーダー論、日臨技活動について講演頂いた。午後からは4グループワークに分けグループワークを行った。学生を取り込んで技師会活性化を進めることをテーマに発表されたグループを最優秀発表賞とした。活発な意見交換があり充実した研修会となった。

### 5. 予算委員会報告

田代理事

委員会報告前に、倉重副会長より提案事項あり。

現在、会議費は一律500円と設定されている。昨今の物価上昇やこれからの技師会を担っていく人たち、我々理事もそうであるが、それなりの対価を求める声、それにこたえることも当然のことと思われる。最低賃金も時給941円である時代に、1時間でも2時間でも会議費一律500円では将来を考えると、会議費アップは妥当ではないか。最近はWeb会議も盛んとなっており、現地開催と差別化し、現地開催を1000円、Web開催を500円としてはどうか。現地とWebでの差別化についての質疑は行われたが、反対意見なく承認となった。

第2回の予算委員会を開催しましたので、議事録と予算書を先日配信しています。要点だけ報告致します。先ほど承認された会議費の変更に伴い、各地区の予算配分

を変更している。福岡地区が前年度より約20万円の減となっている。赤字となるような場合は赤字補てん依頼書を提出してもらい、理事会審議をすることとなっている。経常収益の2)事業収益の受け取りデータ共有化事業参加費が県のサーベイランスですが、これが中止となりましたので100万円が0円となっています。

事業受託収入の受取精度保証試料作成費（他県）が事業縮小し、九州のみとなるので約100万円減額となっている。経常収益としては約120万円の減となっている。事業費の会議費については会議の増加が見込まれており8万円ほど増としている。これに合わせて、旅費交通費、会場賃借料も増としている。筆耕印刷費については35万円の増加が確定しているので上乗せしている。精度保証試料作成費は150万円減額している。管理費の理事会費は増、役員行動費も今年度を見るとかなり経費が掛かっており、これも増額している。経常収益2,595万、経常費用2,595万で予算委員会で承認となっています。会員受取会費の整合性について質疑がなされたが、反対意見なく承認となった。

#### 6. 災害対策協定について

外山会長

2月7日に災害協定の話で福岡県庁へ出向いた。福臨技は県とは災害協定を結んでいないので、すでに締結している山梨県の締結文書を提示し、これを参考に話をしてきた。臨薬協などとも災害協定を結ばないといけないので、そちらも進めています。木村理事が山梨県の文書を参考に、締結に向けた文書を作成中で、引き続き県とのやり取りをしながら、締結を目指していきたい。文書の方は理事の方々にも提示いたしますので、ご意見を頂ければと思っています。

派遣時の2次災害についての質疑がなされた。

#### 7. 第33回医学検査学会について

浦園地区長

資料を提示していますが、開催趣意書および協賛依頼、企業セミナーおよび企業展示申込書を作成した。会場の大きさが違うので、セミナー使用料も第一会場を高く設定している。企業展示は4階のスペースで3,4企業申込みして頂いたらと考えている。弁当は1500円+税となっている。実務委員等の弁当の手配等について議論されたが、実務委員もランチョンセミナーに参加することとなった。演題締切りは2月末だが、まだ応募は1件です。

#### 8. タスク・シフト講習会について

木村理事

3月3日（日）に第16回の講習会を開催予定です。先ほどの話にもあったように、50人の申し込みがあれば、開催日に減っていても開催可能など緩和されている。現在、会員の約2400人はWebの登録も行っていない状況で、広報を行い状況を見ながら開催を考えていく。4月に国際医療福祉大学より、備品貸し出しの依頼があつていまずので、対応させていただきます。

#### 9. 医療団体協議会セミナー報告

緒方副会長

外山会長が会長を務めております医療団体協議会セミナーが2月3日（土）にタスク・シフトを題材に開催されました。4団体によるシンポジウムが開催されています

が、当会からは木村理事がシンポジストとして出席しました。参加者は91名でした。

#### 10. 法人会計勉強会について

倉重副会長

来年度の勉強会のお知らせ。技師会を運営するための法人会計勉強会が開催されますので、参加を考えている。技師会の理事は法人会計について知っておかなければいけないが、知らない人が多いために企画された。年間5回開催でプログラムは資料の通りです。Web開催で研修参加費は2万円で、5名が視聴可能です。会計担当の2名は必ず参加いただきたいと思います。反対意見なく、参加は承認となった。

#### 11. 各部報告

##### ●管理・運営（生田）

資料あり。

発送文章は資料の通り。2024年度生物化学月例サーベイ中止のお知らせを渡されているかと思しますので、周知をお願いします。その他、資料をご確認ください。

##### ●財務管理部長（田代）

資料あり。

1月の会計報告。

##### ●学術部長（佐藤）

資料あり。

研修会実施状況は資料の通りです。県学会については先ほどの通りです。

##### ●精度管理（牟田欠席）

報告事項なし。

##### ●広報・情報管理（嶋田）

資料あり。

今週末が会誌ふくおか3号の原稿締切りです。

##### ●企画運営（木村）

資料あり。

先の報告のみです。

##### ●公益事業部長（加藤）

資料あり。

福岡県医学検査デーのポスターを準備しています。外山会長より県庁や医師会等へは配布頂いています。各理事それぞれ50枚ずつ準備していますので、施設での配布をお願いします。

#### 12. 各地区報告

##### ●福岡地区（新田）

資料に沿った会議報告。

##### ●北九州地区（佐藤）

資料に沿った会議、研修会。今後の予定として2月17日（土）に北九州地区学術発表会を予定している。北九州の内情を記載しているが、学術部長がかなり負担増となっていることから、副学術部長を配置し、業務分業を行い負担軽減を行う。広

報情報管理事業にお願いしたいことですが、北九州は福岡県に HP が無かったころから北九州支部で HP を運用していた。これは今も継続しており、費用が発生している。今後は北九州 HP の内容を県 HP に載せ替えて、県 HP のみで運用をお願いしたいので、担当者と相談いただきたいと思います。

●筑後地区（野田）

資料に沿った報告。

3月29日に地区役員推薦会議予定。4月18日に筑後地区前期講演会を予定している。

●筑豊地区（浦園）

資料に沿った会議や研修会報告。

県学会報告は先の通りです。

13. その他

1. 後援依頼 1 件

① 申請団体：福岡県病院協会

第 8 回臨床検査研修会 2024/3/9

反対意見なく承認された。

2. HP 広報掲載申請 1 件：シスメックス株式会社

現地・Web ハイブリッド開催

第 46 回シスメックス学術セミナー 2024/6/8

反対意見なく承認された。

議事録作成 令和 6 年 2 月 15 日

池上新一

議事録署名

\_\_\_\_\_ 印      \_\_\_\_\_ 印      \_\_\_\_\_ 印